

○介護予防関係

(調査結果報告書 P18 3-9) 前回調査に比べ、何らかの理由で外出を控えている方は減っている(22.0%→14.9%)、控えている理由(P18 3-9①)は「足腰等の痛みや歩行の衰え」が最も割合が多く、前回調査より増えている(38.9%→63.5%)。

また、外出控えの方(P18 3-9)は一般高齢者では11.3%だが、要支援・事業対象者では56.0%と増加する。

課題 外出に何らかの支援が必要になると、外出控えにつながることから、支援が必要となる前に歩いて外出する習慣がつくよう、元気なうちから要支援までの高齢者を、ひとりでも多く歩いて外出させることができるか。

(調査結果報告書 P35 5-6、P52 8-1 関連)「5 毎日の生活について」「8 地域での活動について」アンケート結果を地区別で分析を行うと、趣味や健康づくり、仲間づくり(グループ)について、分析すると地区毎に差異がみられた。

○地区別の分析(趣味の有無、地域の活動への参加)

単位(%)

対象地域	Q5-6 趣味 有	Q8-1 ボランティア	Q8-1 スポーツ	Q8-1 趣味	Q8-1 町内会	Q8-1 教養	Q8-1 仕事
市全域	63.6	9.3	22.6	26.7	26.6	7.9	20.1
犬山北	65.3	9.2	20.9	25.4	26.2	8.6	21.7
犬山南	63.1	5.7	21.2	23.7	24.6	6.6	21.3
城東	58.2	13.2	20.0	31.3	30.2	7.2	16.0
羽黒・池野	65.2	7.9	25.5	28.3	26.2	9.1	21.1
楽田	66.5	11.7	24.7	25.2	28.0	7.9	19.1

市全域と比べ 3.0%以上高い:濃い赤 2.0%~2.9% 高い:薄い赤

3.0%以上低い:濃い青 2.0%~2.9% 低い:薄い青

課題 地域の実情にあった(参加したくなる)介護予防事業を展開していくか。

○高齢者福祉関係

(R6、R7 事業実績より) 独居の高齢者は年々増えているが、ひとり暮らし支援のため
の高齢者福祉サービスの利用数は横ばいとなっている。(あんしんコール R6 12 人→
R7 10人、見守り配食 R6 40人 → R7 42人)

アンケート結果(調査結果報告書 P58 10-2)でも、認知度・利用度としては、「事業を知らない」が 6 割程度いる一方で、今後の利用意向では「利用したい」が、3 割程度いる。

○ひとり暮らし高齢者の推移

単位:人

年月日	人口	65 歳人口	1 人暮らし高齢者数
R8.3.31	70,779	21,045	3,334
R7.3.31	71,067	21,100	3,228
R6.3.31	71,521	21,213	3,137

※施設等(特養、軽費老人ホーム、障害者施設等)の入所者で、住民票単身世帯となっている者を除く

課題 事業(事業の認知度を高める、利用時の方法を知らしめる等)の周知。

《参考》

○あんしんコール事業

あらかじめ決められた曜日に本人へ電話や LINE によるビデオ通話をすることにより
安否確認を行う。安否の確認が取れなかった場合には、事前に届出のあった緊急連絡先
へ連絡する。(状況により、市や高齢者あんしん相談センターも対応する。)

対象:65 歳以上の一人暮らしの方 費用:無料 ※見守り配食サービスとの併用不可

○見守り配食サービス事業

昼食を手渡しにて配達することにより、安否確認行う。安否が取れなかった場合は、事
前に届出のあった緊急連絡先へ連絡する。(状況により、市や高齢者あんしん相談センタ
ーも対応する。)

対象:65歳以上の一人暮らし又は高齢者世帯等で、昼間の安否確認の必要がある方
費用:1食 430円～ (注文するお弁当種類による) ※あんしんコールとの併用不可